

地域住宅生産者グループ No.110

希望の住まいづくりネットワーク

| 地域型復興住宅の名称 | 対象となる地域 |
|------------|-----------------|
| 希望住まい | 岩手県盛岡・遠野釜石・奥州花北 |

グループの特徴とメッセージ

『住まい』は、暮らしを入れる器。それぞれの家族にそれぞれの暮らし方があり、『住まい』の形もまた、その数だけ存在します。

年月とともに家族は成長し暮らし方も変わります。数十年、百年と住み続けたい『住宅』に求められる機能も、年月とともに変化していきます。

生活とともに変化する『住まい』の形は、住み手の主張を反映してはじめて『住宅』として形づくられます。

被災された皆さんの生活再建の出発点として、また、礎として、希望の『住まい』を形づくるお手伝いをしたいと思っています。私たちは、押し付けではなく、「地域の暮らしといわての風土」に根ざした『住まい』の形を一緒に考えいきます。

グループの基本情報

| | |
|-------------------------|---|
| グループ名称 | 希望の住まいづくりネットワーク |
| 所在地 | 盛岡市本宮五丁目 14-21 住まいづくり設計室内 |
| 結成年月 | 2012年2月 |
| グループ形態 | 任意団体 |
| 主たる業態 | 住宅設計・監理・施工・工事管理 |
| グループ構成 ※各事業者名 は別紙 | 合計 18 社 製材 : 3 社 建材流通 : 3 社 設計 : 2 社 施工 : 5 社 専門業種 : 5 社 |
| 代表者名 | 小笠原浩次 (住まいづくり設計室代表) |
| 主な受賞歴・活動内容等 | 岩手県木造耐震相談支援事業 相談員 |

※グループ構成員の活動内容

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

| | |
|-----------|----------------------|
| 主な構造・工法 | 木造軸組工法 |
| 価格帯 | 1,000～1,500 万円 |
| 価格の基準面積 | 100 m ² |
| 価格に含まない項目 | 屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費 |

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。
詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績（年間）

| | |
|--------------------------|---|
| 建設戸数*（木造戸建） | 戸 |
| うち地域材活用の住宅 | 戸 |
| うち長期優良住宅 | 戸 |
| グループとしての 施工実績 | 戸 |
| グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数 | 10 戸 |
| 自由記入欄 (上記以外の実績等) | 500 万円以上の大～ 中規模リフォーム工 事を 10 戸程度受注 (年間) |

※参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

| | | | |
|--------|--------------------|-------|---------------------|
| 担当者名 | 小笠原 浩次 | メール | ogswrhrtg@gmail.com |
| 電話番号 | 019-636-4436 | F A X | 019-636-4436 |
| ホームページ | | | |
| 自由記入欄 | 携帯電話 090-4312-0394 | | |

地域型復興住宅

希望住まい

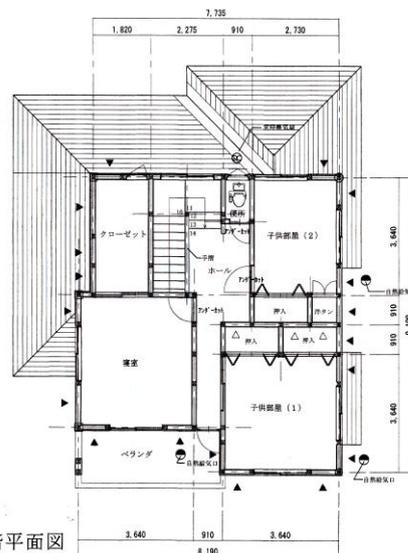
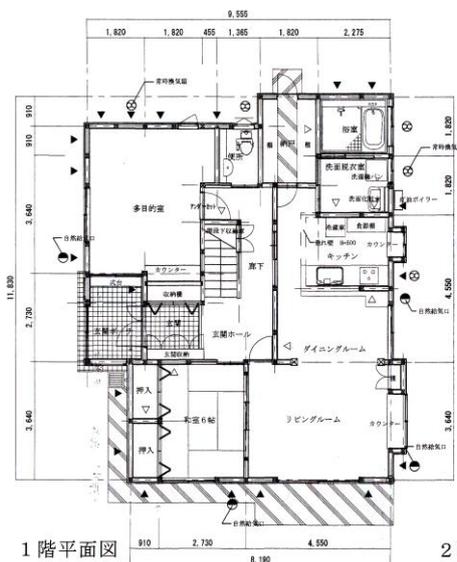
地域型復興住宅のイメージと特徴

■ 家族の成長と地域交流の場に

- ・この住宅は平成18年4月、子供の入学と共に完成した希望に満ちた住宅です。ご夫妻と、お姉ちゃん、1年生になる男の子の4人家族。旦那様と奥様はアウトドアや、地域交流に積極的に参加する行動派家族。独立した寝室は家族の成長を受け止め、風除室から直接入ることが出来る多目的室と、開放して使える和室とリビングルームは交流の場になります。

■ 地域型復興住宅の原点として

- ・設計・監理と地域工務店との協働による直営工事として、価格を抑える
- ・ベタ基礎、土台パッキン、次世代省エネ、バリアフリー、筋交とパネルによる高耐震住宅
- ・無垢のフロアと腰壁、外壁にも無垢木材のワンポイントで個性を強調
- ・地域型復興住宅の規格に準拠



代表的事例の概要

| | | | |
|-----|------------------|-----|---|
| 構造 | 木造軸組工法 | 床面積 | 1階：99.6 m ² 2階：66.6 m ² |
| 設計 | 住まいづくり設計室 | 施工 | 佐藤建築 |
| 施工費 | 1,950万円（設計費用は除く） | 備考 | — |

設計方法や地域材活用に関する特徴

■ 『希望住まい』 基本的考え方

希望の住まいづくりネットワークの住宅は、一棟一棟『希望』を込めます。

50年ほど前まで、『住宅』は近所の棟梁に、直接お願いして工事が始まりました。地域の「結い」と言う助け合いの力と職人の技術によって建てられていました。建主も出来る仕事に直接参加しました。それが直営工事の原型です。

建築が、分化・工業化が進み、住宅が商品として『消費』されるようになり、地元の大工さんは、ハウスメーカーの傘下に組み込まれ、左官屋さんの仕事は極端に少なくなりました。安い外材が入る



1950年代の建て方風景

施工方法等に関する特徴

と山は荒れ、多くの製材所は廃業に追込まれました。

直営工事は、安価に住宅を建てる一つの方法ですが、建築主が行うには工事管理・資材発注と、専門知識と多くの時間が必要になります。『希望の住まいづくりネットワーク』は、本来の住まいづくりの形である設計と施工の分離で、建築主の立場に立って、復興住宅を支援することめざします。

設計事務所は納得がいくまで打合せを重ね、基本設計・見積・業務委託契約・実施設計と進み、予算書を作成、各専門業者との請負契約の支援を行います。工務店は長い経験と技術を誇りに、責任を持って工事を行います。設計事務所は施工を管理し、完成まで工事全体を監理していきます。

使用する材料の一つひとつをお客様と確認し、有る程度の変更も、事前の工程説明の中で可能になります。

職人の顔も見え、家族の参加も可能な『住まいづくり』こそ『住まい』に愛着を感じ、さらに地域経済を支え、環境負荷も軽減する方法と考えています。

『希望住まい』は
『光と風、少しの遊び』



今も残る上棟風景



地域住宅生産者グループ

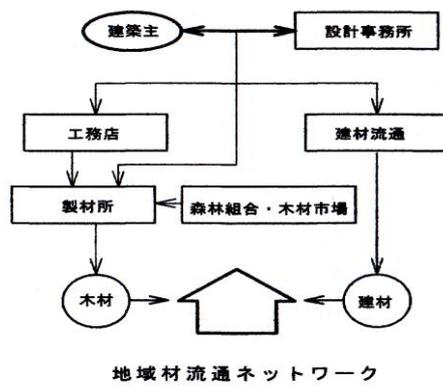
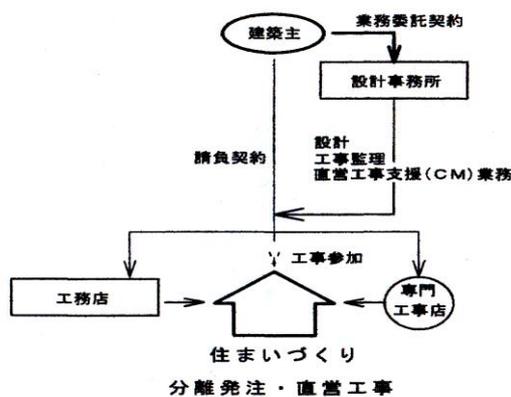
希望の住まいづくりネットワーク

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■希望の住まいづくりネットワークは全ての被災地のサポートをめざします

・ネットワークの工務店グループは被災地に近い奥州市・遠野市の工務店を盛岡市・紫波町・八幡平市の工務店がバックアップする体制を取っています。設計事務所と建材流通・専門仕上げ業者の各社は全县をカバーしています。

現在のグループは一つの網目ですが、『希望住まい』の繋がりによって、被災地の工務店の参加など、ネットワークの網目を増やしていくことをめざします。



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

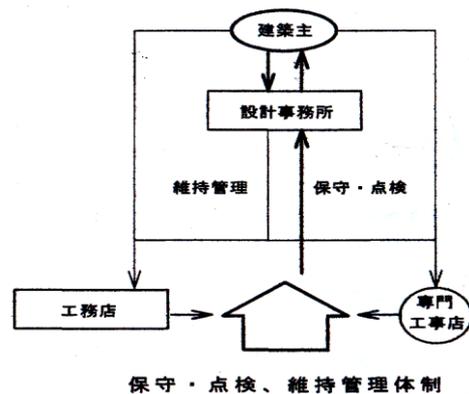
■設計事務所による相談体制

・お引渡する住宅は、一棟ごと施工体制が明らかになっています。責任ある施工で万全を期していますが、施工上の問題や、維持管理・増改築の相談は設計事務所が責任を持って対応します。

・長期的維持管理・改修のため、検査済書や竣工図などの完了書類と共に、専門業者届・使用材料届や住設機器取説書をファイルでお渡し、後日の管理に備えます。

-----最後に-----

・被災された皆さんの親戚・知人友人の中には、建築に関連するお仕事をされている方も多いと思います。再建するお住まいをこの方々にも協力していただきたいと考えている方は、是非とも『希望の住まいづくりネットワーク』にご相談下さい。皆さんの『希望住まい』の実現と共に、ネットワークの次の網目となって、私たちの力になっていただきたいと思います。



大きく膨らむシヤクナゲの蕾

